宮城県第二工業高等学校［定時制課程（電子機械科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県第二工業高等学校は，「明朗闊達（かったつ），勤労愛好」を校訓とし，４年間の夜間定時制課程において，昼間に働きながら学ぶことで，地域社会における健全で持続的な発展を担う社会人を育成します。また，電子機械科と電気科の２学科において，地域企業の技能者による実技指導や社会人講話をはじめとしたキャリア教育などの様々な取組を実践し，地域と共に未来の担い手を育てる学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

○民主的で教養豊かな社会人を育成します。
○基本的な生活習慣と社会性を身に付け，自立できる力を育成します。
○高い「倫理観」と「責任感」を養い，「判断力」「行動力」に富む社会人を育成します。
○進展する科学技術に対応できる工業人として必要な力を基礎学力の定着から育成します。
○電子機械技術の諸課題を発見し，主体的，協働的に解決する能力と態度を育成します。
○資格取得などをとおして，関連する知識や技術の習得につなげます。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

○普通教科では，基礎・基本の学びを重視します。
　→社会生活で必要となる教養，社会性を養います。
○専門教科では，実践的・体験的な科目による学びを重視します。
　→地域と連携し，工業人として必要な知識，技術・技能を養います。
　→ガス溶接技能講習登録教習機関として，関連する知識や技術の基礎力を養います。

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

○少人数で個に応じたきめ細かい指導により，基礎から学び，豊かな高校生活を送りたい生徒
○ものづくりや電子機械技術に興味がある生徒
○資格取得や様々な取組により優れた技術者を目指そうとする生徒
○働きながら工業技術を学ぼうとする意欲のある生徒
○仲間と助け合いながら高校生活に取り組もうとする生徒

宮城県第二工業高等学校［定時制課程（電気科）］

☆　スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県第二工業高等学校は，「明朗闊達（かったつ），勤労愛好」を校訓とし，４年間の夜間定時制課程において，昼間に働きながら学ぶことで，地域社会における健全で持続的な発展を担う社会人を育成します。また，電子機械科と電気科の２学科において，地域企業の技能者による実技指導や社会人講話をはじめとしたキャリア教育などの様々な取組を実践し，地域と共に未来の担い手を育てる学校を目指します。

★　スクール・ポリシー（三つの方針）

１　グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

〇民主的で教養豊かな社会人を育成します。
〇基本的な生活習慣と社会性を身に付け，自立できる力を育成します。
〇高い「倫理観」と「責任感」を養い，「判断力」「行動力」に富む社会人を育成します。
〇進展する科学技術に対応できる工業人として必要な力を基礎学力の定着から育成します。
〇電気技術の諸課題を発見し，主体的，協働的に解決する能力と態度を育成します。
〇電気工事士や電気主任技術者として活躍できる技術者を育成します。

２　カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

〇普通教科では，基礎・基本の学びを重視します。
　→社会生活で必要となる教養，社会性を養います。
〇専門教科では，実践的・体験的な科目による学びを重視します。
　→地域と連携し，工業人として必要な知識，技術・技能を養います。
　→「第三種電気主任技術者認定校」として，電気工作物の電気保安を担う電気主任技術者を育成します。（卒業後に実務経験が３年必要）

３　アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

〇少人数で個に応じたきめ細かい指導により，基礎から学び，豊かな高校生活を送りたい生徒
〇電気技術に興味がある生徒
〇国家資格の取得や様々な取組により優れた技術者を目指そうとする生徒
〇働きながら工業技術を学ぼうとする意欲のある生徒
〇仲間と助け合いながら高校生活に取り組もうとする生徒